

ICと噴石の落下角度の関係

The relationship between IC and angle of drop

*坂本 篤哉¹、*藤田 侑葵子¹、*沖原 峻¹

*Atsuya Sakamoto¹, *Yukiko Fujita¹, *Shun Okihara¹

1.北海道札幌開成高等学校

1.Sapporo Kaisei High School

噴火の規模の測り方は複数あり、噴出物の総量で測る方法や噴出物を飛ばす運動エネルギーで測るといった方法があります。しかし前者は噴出物の状態が液体であったり固体であったりするため正確に規模を測るのは困難です。そこで私たちは運動エネルギーから噴火の規模を測るため、噴出物によってできたインパクトクレーター(以下IC)の形から噴石の落下角度を調べて規模を測定しました。私たちはICの長軸と短軸の長さの比に着目し、その比が1に近ければ近いほど落下角度が多くなるだろうと仮定しました。そして鉄球を噴石に見立てそれを地面に打ち込むという実験を行い、ICと噴石の落下角度の関係について調べました。

キーワード：インパクトクレーター、火山噴出物

Keywords: impact craters, volcanic ejecta